

ウォシュレットSI・II・III(水道直結給水式)取付説明書

はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございます。製品機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

1. 電気工事が必要な場合は必ず電気工事店に依頼してください。

2. 商品にはお客様用として、保証書・ご愛用のしおり・使用方法説明書をお便りに張付けています。

工事完了後、お客様に手渡してできない場合は、便ふたに張付けたままにしておいてください。

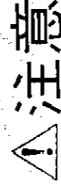
3. 保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付け日を必ず記入してください。

安全上の注意



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

1. 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります。)
2. アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。又、本体着脱ができる構造になっていきますので、アース線に余裕を取って接続してください。(感電するおそれがあります。)
3. 中水道や工業用水の水道に接続しないでください。(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
4. 電源プラグを交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。(感電や火災のおそれがあります。)



注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1. 連結ホースを折曲げたり、つぶしたりしないでください。(漏水するおそれがあります。)

取付前の注意

1. 電源は、交流100V(50/60Hz)、最高消費電力はSI・SIIは621W(SIIIは625W)です。

必ずこれに適した配線をしてください。

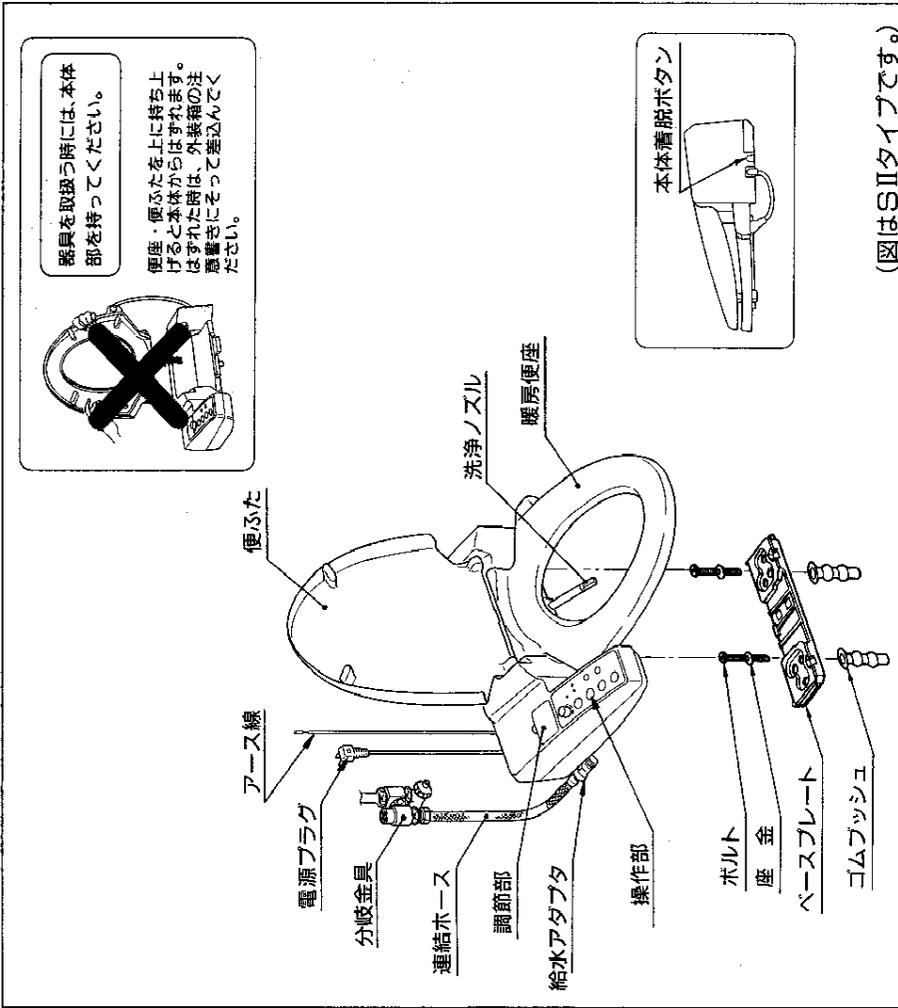
2. 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。

3. 給水範囲は0.05MPa(0.5kgf/cm²)~0.74MPa(7.5kgf/cm²)です。この圧力範囲でご利用ください。

4. 連結ホースの長さは0.97mです。給水取出し位置は、給水アダプタから0.7m以内に設けてください。

5. 器具への通電及び通水は、本体を便器へ取付けてから行ってください。

各部の名称



部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

<p>①ウオシユレット本体</p>	<p>②ベースプレート部品</p> <p>ベースプレート (ストッパー付)</p> <p>ボルト (2ヶ)</p> <p>座金 (2ヶ)</p> <p>ゴムフッシユ (2ヶ)</p>	<p>③分岐金具</p>	<p>④給水アダプタ</p>	<p>⑤連結ホース</p>	<p>⑥保証書</p> <p>使用方法説明書 ご愛用のしおり 同封</p>
-------------------	---	--------------	----------------	---------------	---

仕 様

項 目	内 容
定 格	交流100V・SI・SIIは621W(SIIIは625W) 50/60Hz
1時間当りの標準消費電力量	SI-4D、SII-4I、SIII-42Wh(1日12回使用で年間平均)
電 源	有効長さ1.0m
吐水量	おしり洗浄 吐水量調節範囲 0.3~1.0L/回(水圧:1.96MPa(2.0kgf/cm ²)のとき)
	ビデ洗浄 吐水量調節範囲 0.3~1.0L/回(水圧:1.96MPa(2.0kgf/cm ²)のとき)
吐水温度	温度調節範囲 約30~40℃
ヒーター容量	500W
洗浄方式	ムーブ洗浄機能付
安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止器 空焚き防止プロトスイッチ
逆流防止	逆止弁及びバキュームブレーカ付
温風温度	温度調節範囲 約40~59℃
ヒーター容量	350W
安全装置	温度ヒューズ
表面温度	温度調節範囲 約30~40℃
ヒーター容量	84W
安全装置	温度ヒューズ
脱臭機能(SIIIタイプのみ)	オゾン脱臭方式
給水圧力	最低必要水圧 0.06MPa(0.5kgf/cm ²) 最高水圧 0.74MPa(7.5kgf/cm ²)
周囲使用温度範囲	0~40℃
製品寸法	洗浄し便器用 幅52cm 奥行50cm 高さ16cm
	その他の便器用 幅52cm 奥行53cm 高さ16cm
製品質量	SI-6.9kg SII-7.1kg SIII-7.2kg

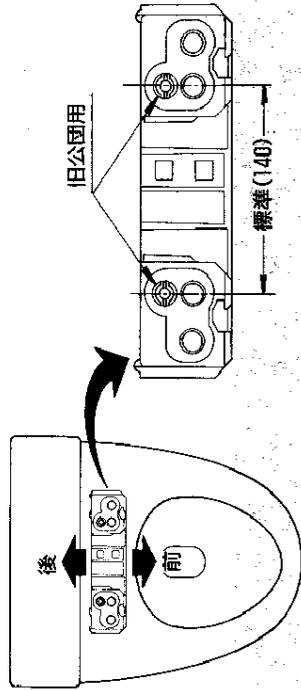
取付方法

1. 便器への取付け

① ベースプレートの取付穴の確認をしてください。

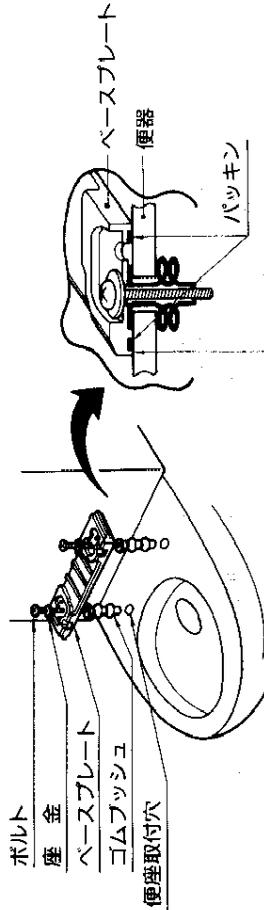
① 後と表示している方が表側です。

① 前と表示している方を、便器の先端側に向けます。



② ボルト、座金、ゴムフッシュがセットされたベースプレートを、便器の便座取付穴に差込み、上面からドライバーでボルトを締め便器に固定してください。

(ゴムフッシュが差込みにくい場合は、ゴムフッシュ表面を水で濡らしてください。)

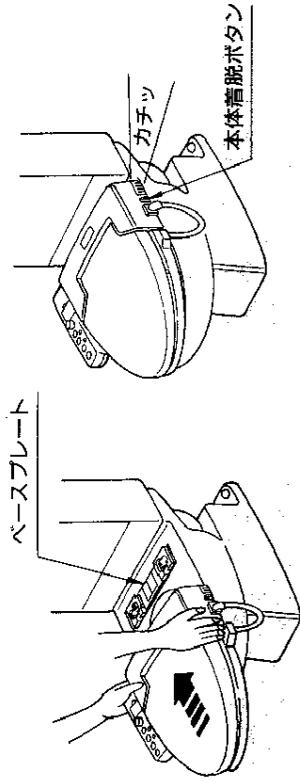


パッキンがふれて、ベースプレートが便器に当るまで締付ける。

※ ベースプレートは仮止めし、便座本体がまっすぐに取付くことを確認してから本締めしてください。本体は本体着脱ボタンを押しそのままスライドさせるとはせず。

※ ボルトはベースプレートが便器に当るまで締付けてください。

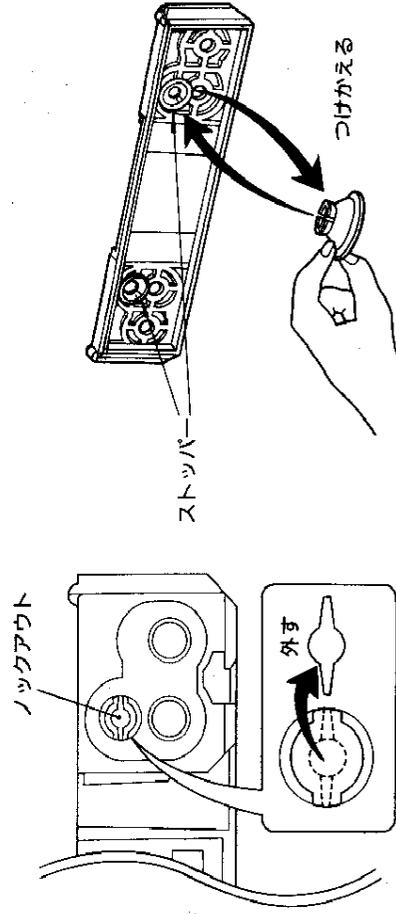
③ その後、ベースプレートのスライド溝とケース本体の溝の位置を合せ便器の上をすべらすようにして奥にスライドさせて「カチッ」と確実に本体がベースプレートにフックされるまで押込んでください。



旧公団用取付け

● 旧公団用の取付穴を使う場合はロックアウト部を取外してください。

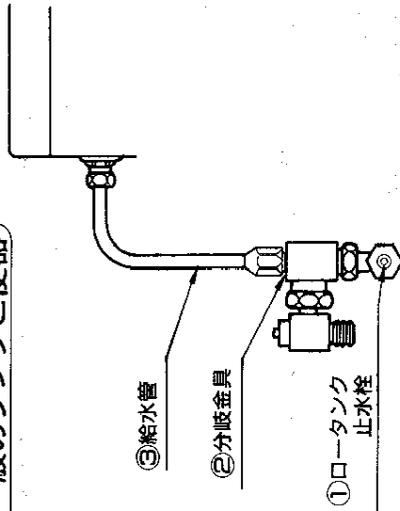
● ベースプレートについているストッパーを、旧公団用の穴へつけかえてください。



2. 分岐金具の接続

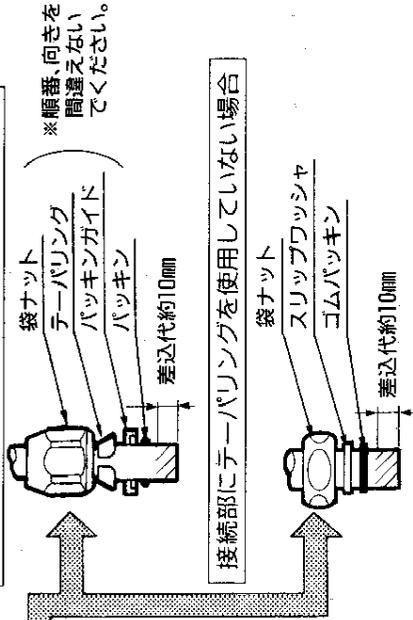
ロータンク止水栓部から取水する場合

一般のタンクと便器



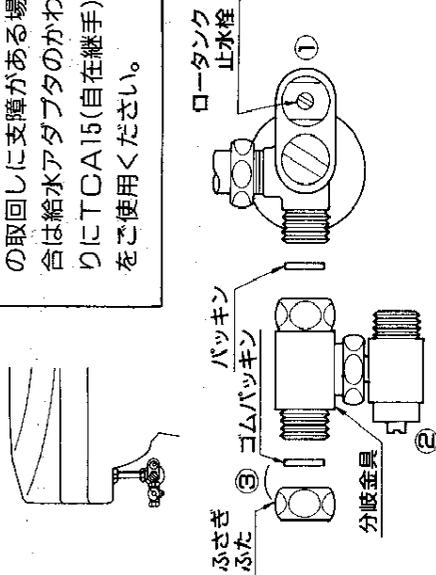
- ①ロータンク止水栓を閉じ給水管を取外してください。
- ②分岐金具を右図のようにロータンク止水栓に取付けてください。
- ③給水管を約10mmの差込代がとれる寸法に切り、接続してください。

接続部にテーパリングを使用している場合



ワンピース便器

※CS406便器で連結ホースの取回しに支障がある場合は給水アダプタのかわりにTCA15(自在継手)をご使用ください。

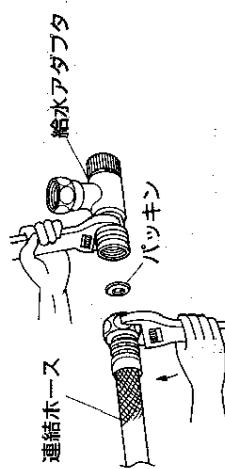


- ①ロータンク止水栓を閉じふさふたとゴムパッキンを取外してください。
- ②分岐金具を図のようにロータンク止水栓に取付けてください。
- ③ふさふたとゴムパッキンを取付けてください。

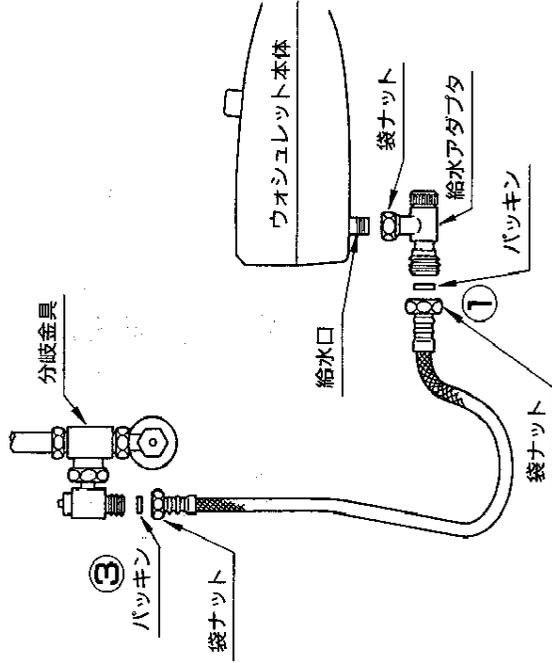
3. 連結ホースの接続

次の手順で分岐金具とウォシュレット本体を付属の連結ホースで図のように接続してください。

- ①必ず給水アダプタと連結ホースをはじめに接続してください。
- このとき2本のスパナで確実に締付けてください。



- ②ウォシュレット本体の給水口と給水アダプタを確実に締付けてください。
- ③分岐金具の給水取出口と連結ホースを確実に締付けてください。
- ④本体の取付け・取外しがスムーズに行えるだけのホースの余裕があることを確かめてください。

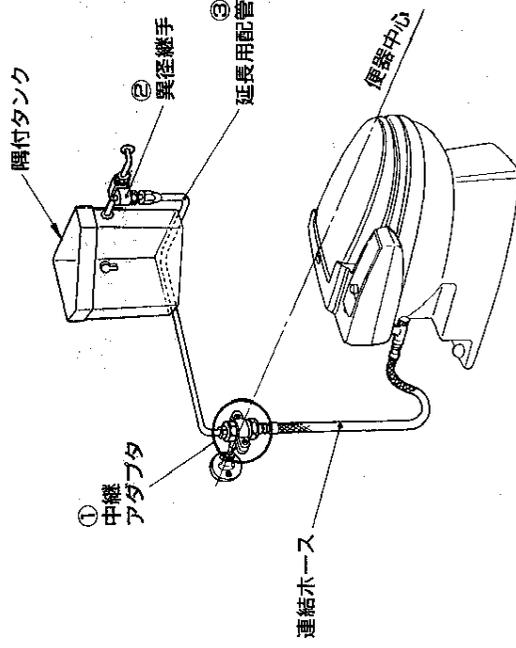


隅付タンク右給水から取水する場合

隅付タンクの給水が向って右側の場合は、連結ホースが短かいので図のような別売品の TCA14 (隅付タンク右給水用連結管、①②③) が必要となります。

フラッシュバルブから取水する場合

フラッシュバルブから取水する場合は、別売品の TH484 (フラッシュバルブの給・排水心々々120mm用) 又は TH484-1 (低圧フラッシュバルブ用) が必要となります。



試 運 転

1. 試運転の前に

分岐金具止水栓とロータンク止水栓を開いて配管から水漏れがないことを確かめてください。

2. 電源プラグの差込と初期動作確認

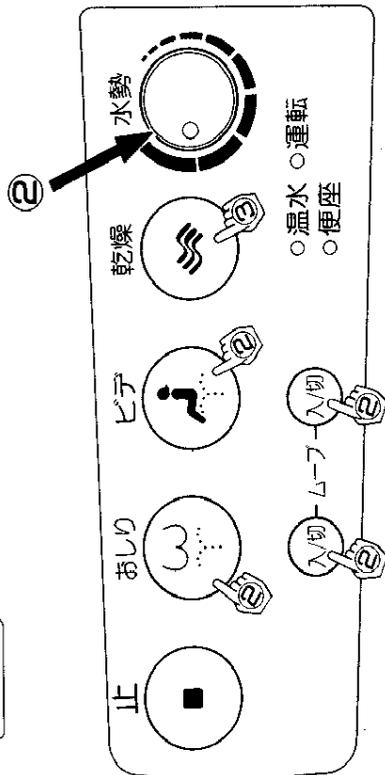


警告

電源プラグを交流100V (50/60Hz) のコンセントに根元まで確実に差込んでください。
* ノズルが一旦出て戻る初期動作を行っているか確認してください。

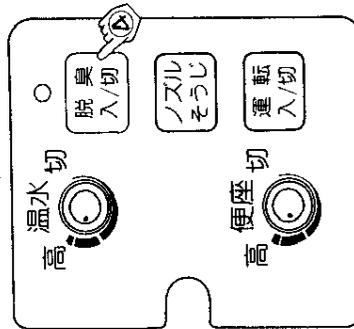
3. 機能の確認

操作部



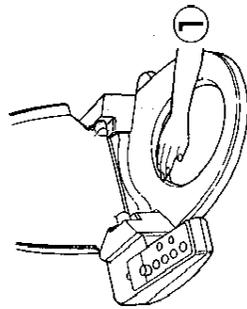
(図はSIIタイプです。)

調節部



(図はSIIIタイプです。)

① 着座センサー

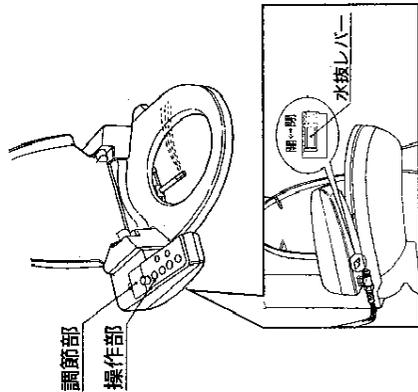


① 着座センサーを作動させてください。

- 腕をできるだけ広くびっぴりと便座に接触させてください。
- ※ 腕を便座から離すと着座センサーは切れず。

※ 次の②③④の確認は着座センサーを作動させた状態で行ってください。

② 洗浄



② 洗浄機能を確認してください。

(確認ポイント)

(1) ノズルから吐水するか。(タンクが空のときは吐水するまでに約1分かかります。)

※ ノズル左側の排水口から水が出る場合は水抜レバーを閉位置に移動させてください。

(2) おしり・ピテ共に適温の温水がでるか。(温水になるまで約5分かかります。) 水勢が変化するか。

(3) 洗浄時、ムーブスイッチを押すとノズルが揺動し、もう一度押すと揺動が止まってふつ々の洗浄に戻るか。

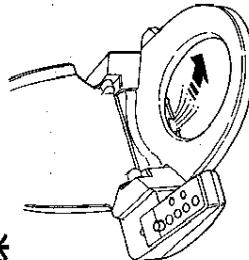
(4) ノズルの動きは正常か。

(5) スイッチを押してノズルを洗ったのち、ノズルが出ます。

(6) 本体から水漏れはないか。

(7) 止スイッチを押すと止まるか。

③ 乾燥



③ 乾燥機能を確認してください。(SIIタイプのみ)

(確認ポイント)

(1) 温風が便座後方から出るか。

(2) 止スイッチを押すと温風が止まるか。

④ 脱臭機能を確認してください。(SIIIタイプのみ)

(確認ポイント)

(1) 着座センサーを作動させると本体ケースの右側から風が出ているか。

(2) 脱臭入/切スイッチを押すと風が止まるか。

⑤ 暖房便座機能を確認してください。

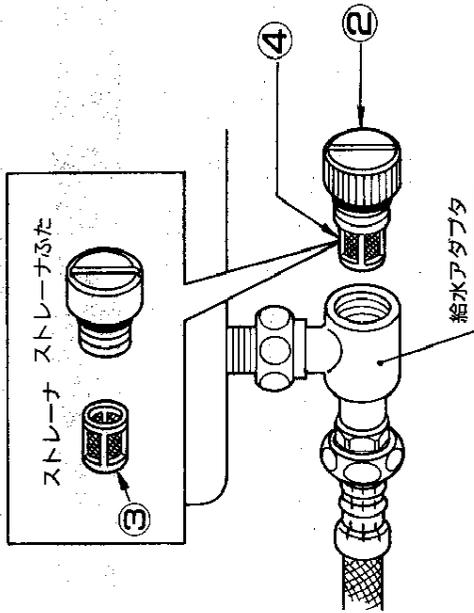
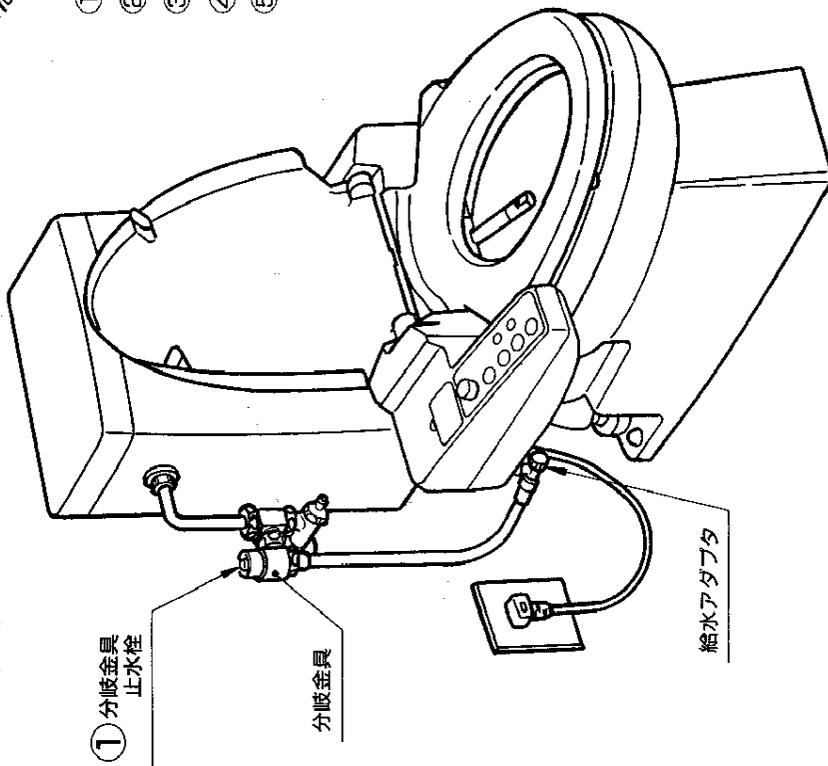
(確認ポイント)

(1) 便座が温まっているか。(10～15分かかります。)

ストレーナの掃除

ストレーナに水あかやごみがつまると適正な性能が得られなくなります。必ずストレーナを掃除してください。

- ①分岐金具止水栓を閉めてください。
- ②給水アダプタのストレーナふたを外してください。
- ③ストレーナを取り出し掃除してください。
- ④ストレーナをセットし、ストレーナふたを確実に締めつけてください。
- ⑤分岐金具止水栓を開けて漏水が無いことを確かめてください。



凍結のおそれがある時の処置

お客様に引渡しされるまでに凍結のおそれがある時は、漏水事故予防のため水抜きしてください。

水抜き方法

- ① ロータンク止水栓を閉めてください。
- ② 給水アダプタ下に、洗面器などの水受けをおいてください。
- ③ ロータンクレバーハンドルを操作してロータンクの水を抜いてください。
- ④ 分岐金具止水栓が開いていることを確かめてください。
- ⑤ 給水アダプタ止水栓を外して連結ホースの水を抜いてください。
※ 連結ホースを持ち上げて連結ホース管内の水を完全に抜いてください。
- ⑥ 水抜きレバーを開位置に移動させ、本体内の水を抜いてください。
 - ・ 本体内の水はノズル左側から便器内に出ます。
- ※ 便器に取付けたまま抜いてください。
- ⑦ 水を抜き終わったら……
 - ・ 水抜きレバーを閉位置に移動させてください。
 - ・ 給水アダプタ水抜き栓を本体側に確実に確実に締めてください。
 - ・ 電源プラグを抜いてください。

